

2026年5月12日

株式会社三菱UFJ銀行

フィランソロピー・アレンジメント・サービスの立ち上げについて

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{おおさわ まさかず}大澤 正和、以下 当行）は、社会課題の解決と産業競争力の強化を両立する新たな金融仲介機能として、「フィランソロピー・アレンジメント・サービス」を立ち上げます。本サービスは、これまで主として社会貢献の文脈で活用されてきた寄付に対し、産業基盤の強化や将来の競争力創出に資する「超長期の成長投資」という新たな価値を見出し、産官学金が連携する新たな資金循環モデルの構築を目指してまいります。

当行は、金融機関としての仲介機能を通じて、企業の持続的成長と日本経済の中長期的な競争力強化に資する社会的インパクトの創出に取り組んでまいります。

1. 本取り組みの背景

地政学リスクの高まり、社会課題の複雑化、急速な技術革新といった構造変化の中で、産業の高度化や企業の持続的成長には、既存の延長線上にない非連続なイノベーションの創出が求められています。

政府においては、官民が連携した「危機管理投資」および「成長投資」を通じ、戦略分野への重点的な資源配分を進める方針が示されており、産官学金が一体となったエコシステムの構築が重要となっています。しかし、非連続なイノベーションの源泉となる基礎研究や実証段階の挑戦的な取り組みは、長期にわたる開発期間や不確実性から、従来型の投融資の枠組みでは十分な資金供給が難しいという構造的課題があります。

当行は、こうした社会的に不可欠でありながら資金が行き届きにくい領域に対し、寄付に「超長期の成長投資」という価値を見出し、資金循環を促していくことが金融機関に求められる責務であると考え、本取り組みを推進してまいります。

2. 本取り組みの概要

本サービスは、社会的・産業的意義の高いテーマに対し、企業版ふるさと納税制度の活用を含め、法人による寄付をアレンジメントするものです。

＜フィランソロピー・アレンジメント・サービスによる資金循環のイメージ＞



テーマの選定、受け手の取り組みの可視化、資金使途の明確化、企業への提案までを一気通貫で担うことで、戦略性と透明性を備えた資金循環を実現します。これにより、社会課題解決を起点として産業の高度化を促し、企業の持続的成長と日本経済の中長期的な競争力強化につなげる新たな金融の枠組みの構築を目指してまいります。

まずは、半導体、モビリティ、ヘルスケア、コンテンツ、フード&アグリ、サーキュラーエコノミーを主要テーマに、経済安全保障や環境・資源制約への対応など、産業の高度化に資する領域を中心に検討を進めてまいります。

以 上